

各地域協議会で現在審議中の自主的審議事項テーマ一覧（R6. 3. 28現在）

No.	地域協議会	審議事項	審議開始日	概要 ※審議開始時のもの
1	新道区	水害対策について	R5. 9. 26	新道区では大雨などの際、主に鴨島において度々冠水被害が発生しており、過去には住居浸水に見舞われたことも少なくない。地域全体が河川沿いに位置しており、鴨島に限らず地域の重要課題として水害対策について検討するもの。
2	春日区	春日山城跡の観光振興策について [観光分科会]	R3. 11. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定の史跡である春日山城跡は、日本百名城にも数えられ、県内外から観光客が訪れる当市有数の観光スポットであるが、観光地として十分に活用されているのか疑問がある。 ・また、史跡の保存や整備については、地域の団体の力に頼るところが大きく、市の姿勢が消極的ではないかと感じられる。 ・このような状況を踏まえ、春日山城跡の「観光地としての魅力向上」や「市民を巻き込んだ環境整美」などにより、春日山城跡の観光振興策について検討するもの。
3	諏訪区	二貫寺の森の活用について	R3. 4. 28	<p>多くの自然が残る二貫寺の森は地域の貴重な財産でありながら、施設全体を見れば、草木が繁茂し十分な維持管理が行われていないことや、広く市民に認知されていない現状がある。</p> <p>このような状況を踏まえ、二貫寺の森が「市民の森」として一層利用され、地域の活力向上に資する施設となることを目指し、二貫寺の森の活用方策について検討するもの。</p>
4	直江津区	直江津まちづくり構想について	H25. 2. 14	直江津のまちづくりについて、駅前にぎわい創出、駅前と商店街の活性化、朝市や歴史的建造物の観光PR、駐車場不足の問題、地域に暮らす人々の生活面の充実など、直江津が抱える様々な課題を総合的に検討するもの。
5		地域ぐるみの防災活動の推進について	R5. 10. 10	直江津区は津波や水害等のリスクが高い地域であることから、地域防災力の維持・向上のために実効性のある自主防災組織の再構築に向けて協議・検討するもの。

各地域協議会で現在審議中の自主的審議事項テーマ一覧（R6. 3. 28現在）

No.	地域協議会	審議事項	審議開始日	概要 ※審議開始時のもの
6	八千浦区	保倉川放水路と八千浦区のまちづくりについて	R4. 3. 22	保倉川放水路の建設は地域住民の生活等に大きな影響を与えるものであるが、八千浦区のまちづくりを再考する機会と捉え、若い世代が集まって来るような新しいまちづくりについて検討するもの。
7		海岸線の安全・安心について	R4. 3. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・直江津港港湾区域の交通規制や道路の管理の在り方について、直江津港を利用する釣り人や地域住民の安全・安心の観点から、検討するもの。 ・海岸のごみは、住民でゴミ拾いを行っているが、地区外の来訪者が出すごみや漂着ごみも多く、対応が追い付かない状態にある。海岸美化のために、地域住民やボランティア団体、来訪者が一緒にゴミ拾いをするような仕組み等を検討するもの。 ・季節風のため道路に砂が堆積し、そこから草が生えて道幅が狭くなる。定期的な砂の除去等について、安全確保の観点から検討するもの。
8	谷浜・桑取区	来訪者を受け入れるための地域づくりについて	R5. 8. 2	多くの方から訪れて頂ける地域となるため、谷浜・桑取区の認知度等を把握することを目的とした来訪者アンケートを実施する。アンケート実施に向けて、項目の検討や関係団体との協議を行うもの。
9	安塚区	住みやすい安塚の在り方について	R3. 12. 21	<p>人口減少・少子高齢化が進行する中で「住みやすい安塚」を実現するため、区内の各種団体や地域住民等との意見交換を行う。</p> <p>意見交換をとおして、現在安塚区が抱える課題を再確認するとともにその改善策を検討し、住みやすい安塚の在り方についての方針を策定するもの。</p>
10	牧区	あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について	R3. 9. 7	子育て世代の保護者との意見交換をとおして、区内で生活するなかで、具体的な課題が挙げられた。それらを踏まえ、今後、子育て世代に留まらず、地域に寄り添い、牧区内で暮らすあらゆる人が安全・安心に住み続けたいと思える「牧づくり」について検討するもの。

各地域協議会で現在審議中の自主的審議事項テーマ一覧（R6. 3. 28現在）

No.	地域協議会	審議事項	審議開始日	概要 ※審議開始時のもの
11	柿崎区	柿崎区保育園にかかる課題と今後について	H26. 11. 26	柿崎区内の保育園4施設について、それぞれ老朽化が進んでいることに加え、未満児の受け入れの有無や延長保育の時間帯が異なる等サービスに差が生じているほか、津波に対する防災面の課題がある。これらの課題と、少子化に伴う将来的な園児数の減少が見込まれることから、柿崎区の保育園が今後どうあるべきかを検討するもの。
12		柿崎区内の公共交通の在り方について	R2. 10. 28	柿崎区内でバス路線の廃止が検討されている地域があるため、今後の公共交通の在り方について検討するもの。
13		柿崎区の空き家対策について	R2. 10. 29	柿崎区内の空き家の現状を調査し、地域活性化のための空き家の活用法について検討するもの。
14	大潟区	大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について	R3. 6. 10	大潟区の観光、地域振興の中核的施設かつ、鵜の浜温泉のランドマークでもある大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館は、地域住民の健康増進及び地域コミュニティ活性化に欠かせない施設である。地域活性化のために、運営上の課題研究、その改善と、さらなる利活用の方策について検討し、利用者の増加と、施設運営に係る公費負担額削減を図るもの。
15		大潟野外活動施設の今後の活用について	R5. 6. 22	大潟区の観光・教育の主要施設としての役割を担ってきた大潟野外活動施設は、開設後約40年経過し遊具の老朽化が進んでいる。 また、当該施設は第4次上越市公の施設の適正配置計画において、貸付又は譲渡の方向性が示されていることも踏まえ、今後の活用について検討するもの。

各地域協議会で現在審議中の自主的審議事項テーマ一覧（R6. 3. 28現在）

No.	地域協議会	審議事項	審議開始日	概要 ※審議開始時のもの
16	吉川区	公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について	R2. 12. 17	吉川区では市町村合併後、7つの地域づくり会議を組織し公民館活動を担ってきたが、人口減少・少子高齢化に伴い年々活動が衰退し、地域の絆が希薄となり元気がなくなってきている。 この状況下で公民館分館が、公の施設の適正配置計画案では貸付の方針が打ち出された。施設は、閉校した学校を利用し、地域の核として長年、地域の人たちが集い、交流を深め、活動してきた施設である。 そこで、各地域の皆さんと意見交換等を行い、これからの公民館を含む地域活動の促進及び施設の有効な利活用を検討するもの。
17		株式会社 よしかわ杜氏の郷 民営化について	R4. 4. 28	・「株式会社 よしかわ杜氏の郷」は、吉川の酒造の文化と歴史の伝承・地域農業の発展・農業所得の向上を目的に、旧吉川町時代に設立されたものであり、現在も地域活性化の要として重要な存在となっている。 ・今般、市が「株式会社 よしかわ杜氏の郷」の経営状況の悪化による民営化の方針と譲渡先の公募の意向を示したが、当該会社及び施設が、引き続き、設立の歴史や地域とのつながりを大事にし、地域活性化を担う存在となるよう、意見交換を行うとともに施設を中心とした活性化について検討するもの。
18		尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について	R6. 2. 15	・吉川区では、尾神岳、道の駅よしかわ杜氏の郷を観光スポットとして位置付け、旧吉川町時代から観光振興策を進め、合併後においても、市による施設の運営や維持、地元観光協会による観光振興を進めてきた。 ・地域協議会が実施した住民アンケートにおいても、吉川で自慢できるものとして、尾神岳と道の駅は、各々多くの票を集めた。地域協議会では、尾神岳と道の駅を地域振興の鍵として位置付け、活性化策について検討することとした。
19		若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について	R6. 2. 15	上越市内では、生活習慣や就労、社会環境などの変化に伴い、少子高齢化とともに人口減少が進んでいるが、特に吉川区においてはその状況が顕著であり、このまま放置すれば、産業はもとより、地域活動の維持も困難となり、地域・故郷の消滅が危惧される。 地域協議会内に若者移住定住部会を設置し、これまで調査や意見交換を行ってきた内容を基に、将来の担い手・人材確保の観点から、青年層の定住・移住希望者へのアピール度が高いと思われる支援策、特に子育て支援策について検討するもの。
20		高齢者に配慮した移動手段（交通手段）の確保について	R6. 2. 15	吉川区では、運転免許を返納するなど自家用車を持たない高齢者が増える一方、医療機関や行政機関、商業施設等が市街地に集中する中、医療、福祉、行政手続きや購買などに関する日常生活が困難となり、高齢者の暮らしを取り巻く生活環境が厳しさを増してきている今、有効な移動手段の確保が喫緊の課題となっている。 市では上越市公共交通計画に基づき路線バスやタクシーの運行を実施されているが、吉川区においても路線バスの運行計画見直しが予定されていることから、高齢者の日常生活環境の視点を考慮した移動手段（交通手段）の確保につき検討を行うもの。

各地域協議会で現在審議中の自主的審議事項テーマ一覧（R6. 3. 28現在）

No.	地域協議会	審議事項	審議開始日	概要 ※審議開始時のもの
21	中郷区	中郷区型コミュニティバスのあるべき姿について	R4. 7. 26	今年6月に中郷区在住の中学生を除く15歳以上全員を対象にアンケート調査を実施し、対象者約3,100人に対し、2,029件（約65.4%）の回答を得た。 また、現行の路線バス（乗合タクシー）の廃止が懸念される中、アンケートに寄せられた公共交通の充実や高齢者・子どもの居場所づくり、登下校の安全対策などへの取組を望む回答への対応として、中郷区におけるコミュニティバスのあるべき姿について検討するもの。
22	板倉区	板倉区の各種団体が連携した地域活性化について	R3. 12. 21	板倉区が特色ある地域活性化をすすめる上で、各種団体がどう連携したらよいか検討するもの。
23	清里区	坊ヶ池周辺の資源（自然や施設）を活用した地域の活性化	R5. 9. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・清里区の象徴である坊ヶ池の周辺には、自然豊かな「坊ヶ池湖畔公園」、県内最大の望遠鏡を備え、デジタル投影のプラネタリウムを鑑賞できる「上越清里星のふるさと館」、交流の場として農業団体が活用している「ビュー京ヶ岳」があり、様々な取組により、市内外から多様な来訪者を呼び込んでいる。 ・それぞれの取組は、地域住民が様々な形で関わり、雇用はもちろん、地産地消、農福連携、教育への貢献など、地域振興が図られ、地域愛も醸成されている。 ・地域協議会として、坊ヶ池周辺の資源（自然や施設）を活用した活性化の取組を考えることが将来にわたる清里区の活性化につながるものと考え、自主的審議として検討することとする。
24		子育て世帯、高齢者世帯が安全で安心して暮らせる環境の整備	R5. 9. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯は、核家族化と両親共働きといった世帯が多く、保護者等が就労等により不在となる時間帯においては、児童は一日の授業終了後、市が開設する放課後児童クラブに通い、未就学児は延長保育等の制度を利用している。 ・しかしながら、発熱や風邪等の症状がある児童及び未就学児にあっては、放課後児童クラブや延長保育等の制度が利用できない状況にあり、保護者等が一定期間面倒を見ることにより、様々な面において過度の負担となっている。 ・高齢者世帯では、夫婦のみや一人暮らしといった世帯が増加傾向にあり、特に冬期間における玄関や市道までの私道の除雪等が困難な状況にある。 ・このことから、地域協議会では、子育て世帯における病児の育児にかかる保護者の負担を軽減する仕組みの検討と、高齢者世帯における冬期間の生活道路等の確保対策を考えることにより、安全で安心して暮らせる地域にしたいと考え、自主的審議として検討することとする。

各地域協議会で現在審議中の自主的審議事項テーマ一覧（R6. 3. 28現在）

No.	地域協議会	審議事項	審議開始日	概要 ※審議開始時のもの
25	名立区	ろばた館の利活用について	R5. 6. 29	市から、令和7年3月31日を目途にろばた館の温浴と市営としての食堂機能を廃止する方向で検討を進める方針が示された。 これを受けて、機能廃止後を見据えた名立区の地域振興に資するろばた館の利活用方法を検討するもの。